

【回答結果】

イ.卒業生の就職先の意見聴取の調査結果

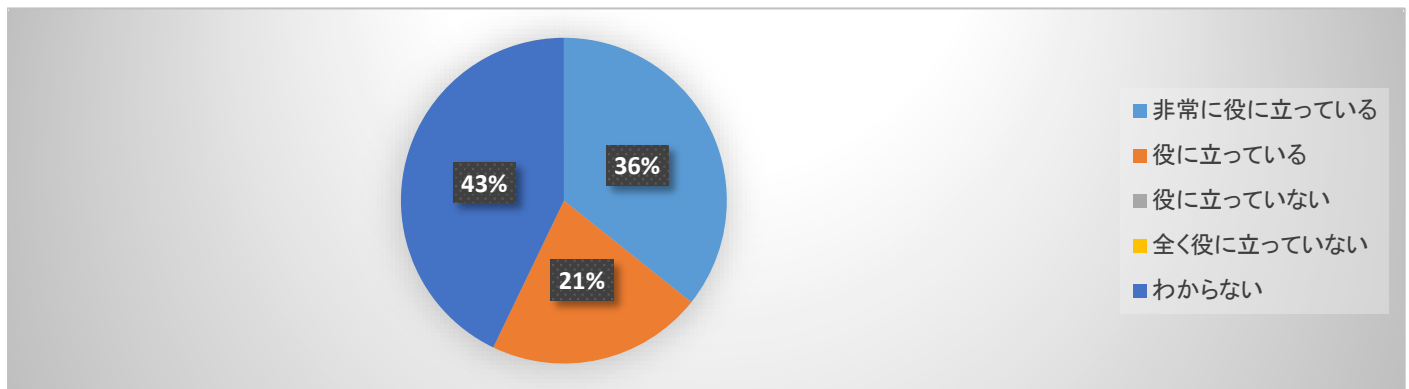
学部	2019年 調査件数	2018年 調査件数	合計調査件数	合計回答件数
獣医学部	30件	28件	58件	14件

(1)獣医学部の各学科のカリキュラム・ポリシーの内、キャリア教育には下記の方針がありますが、皆さんの就職先での業務に役に立っていると思われませんか。

(注)キャリア教育とは、単位取得のある正課内の講義・実習を指しています。

・獣医学科:「キャリア教育として社会での実践的な獣医師の役割を体感する『学外実習』を提供し、社会的・職業的自立を目指す。」

・獣医保健看護学科:「キャリア教育として動物病院や動物園での実習の場を提供し、社会的・職業的自立を目指す。」

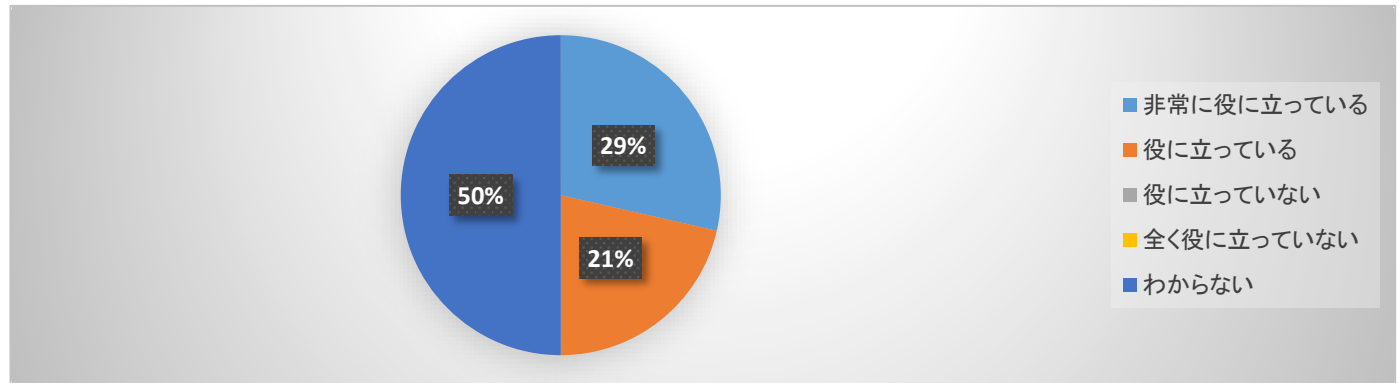


(2)(1)でそのように回答された理由を具体的にお書きください。

非常に役に立っている	医薬情報担当者として獣医学を学んだ視点から、より専門的な医薬品情報提供を実施していただいております。
	獣医学科並びに獣医保険看護学科における必須ポリシーだと思うから。
	具体的な業務イメージを持てるため
	職場にはいってからの仕事内容に対しての認識のギャップが少ない気がする
役に立っている	実習を通して、社会知識・経験を積み成熟が早い為
	動物が好きだからという理由でこの職を目指す方は多い。現場の空気に触れることで、より具体的なイメージがわくのではないかと思います。イメージとちがったとか、思ったよりしんどいとかいうミスマッチを防ぐには必要ではないかと思います。
	当社の業務に直結している実習経験をされているため、仕事や業務理解のスピード感と入社後のギャップが少ないため。
わからない	学生の内から、キャリアについて意識を高めておくことはとても重要だと考えます
	拝見したことがない
	上記方針を学生がどれほど意識して行動しているのか、こちらとしては実感がない。
	特別何かを感じたことがいままでもなかったので”わからない”と回答いたしました
	対象職員は新人でありながら社会人としての自覚が十分あり、進んで新しいことに手取り組んでいる。それが本人の資質なのか、それとも大学でのキャリア教育によるものなのか、分からないため。

(3) 本学のキャリア支援プログラムは就職先の業務に役に立っていると思われませんか。

(注) キャリア支援プログラムとは、単位取得のない正課外の就職ガイダンスやキャリア支援面談を指しています。



(4) (3)でそのように回答された理由を具体的にお書きください

非常に役に立っている	貴学OB・OG社員に関しましては、マナーや一般常識などに関しても十分に備わっていると感じております。
	学生様のキャリアを考える上での重要な支援だと思うから。
	就活前に企業研究をすることにより、本活動時及び入社後のミスマッチを防ぐことに繋がっている
	就職活動に対する意識の改変、視野の広さに影響するため
役に立っている	具体的な内容まで把握しておりませんが、アドバイスいただける学生さんにとっては心強いサポートなのではないかと思えます。
	最終的に結果にむすびつかなかったとしても清水氏からの紹介などがあったので
	キャリア支援プログラムなど無かった自分のことから鑑みると、支援プログラムがあることで、学生の就職に対する意識の向上が図られると思われるので。
わからない	拝見したことがない
	就職ガイダンスやキャリア支援面談がどのようなものか分からないため、業務に役に立っているかは分かりかねます。ただ、貴学の卒業生の皆さんは当社内・お客様からの評価が高いと感じております。
	具体的にどのような指導をされていらっしゃるのかが分からないため。
	2と同様に、こちらとしては実感がないのでわからない。
	卒業生から具体的に貴学のキャリア支援プログラムについてお聞きしたことがないため

(5) その他、本学のキャリア教育・キャリア支援プログラムについてご意見があれば、下記の欄に自由にお書きください。

就職説明会に参加させていただきたいのですが、毎年混雑して参加できません。もう少し窓口をいただくと助かります。
引き続きキャリア支援活動により、優秀な人材の輩出をお願いしたく存じます。
具体的な回答ができず、申し訳ございません。今後ともよろしくお願い致します。
今後もweb面接が主流となる可能性が高いため、面接対策などの事前サポートをお願い出来ればと存じます。(カメラの位置によって目線や姿勢が悪く見えたり、環境によって暗い印象を与えたりする方もいます)
動物病院に限らず、職場にはそれぞれ特徴があり、職場は、その職場の方向性や価値観にあった人材を求めていると思います。これらを正しく見極める方法や考え方をお伝えしていただければと思います。技術的なことは採用後にしっかりと教えられるのですが、入社後に価値観を揃えるのは難しいです。
新卒でのご入社はまだ2名のみとなりますが、両名ともにご活躍いただいております、大変ありがたく感じております。引き続きこちらのご縁を大切にしていけたら、と考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。
臨床に進む学生に対しての病院の選択の仕方を教えてあげて欲しいと思います。

【回答結果】

イ.卒業生の就職先の意見聴取の調査結果

学部	2019年 調査件数	2018年 調査件数	合計調査件数	合計回答件数
応用生命科学部	30件	27件	57件	19件

(1)応用生命科学部の各学科のカリキュラム・ポリシーの内、キャリア教育には下記の方針がありますが、卒業生の就職先での業務に役に立っていると思われませんか。

(注)キャリア教育とは、単位取得のある正課内の講義・実習を指しています。

・動物科学科:「学外の各分野講師や社会の第一線で活躍している本学科卒業生を招聘した『キャリア形成支援講座』を開講することにより、多様なキャリア教育を展開する。」

・食品科学科:「工場見学や食のスペシャリストによる特別講義を行うことにより、学生の志向形成を固めるようキャリア教育を展開する。」



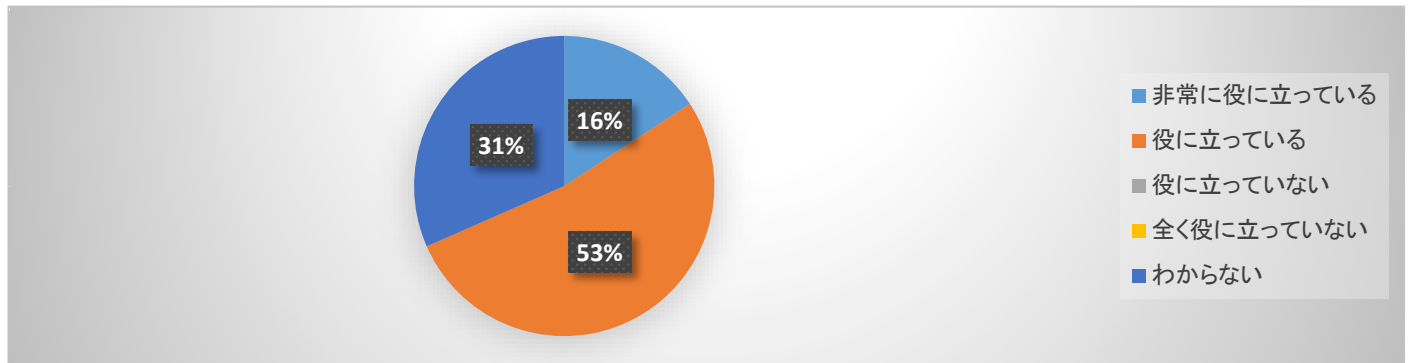
(2)(1)でそのように回答された理由を具体的にお書きください。

非常に役に立っている	<p>弊社は乳業メーカーであり、チーズ製造や乳製品に関わる人材を必要としている為 食品製造業として必要な知識が備わっているため、入社後の研修でも理解度が深いため ある程度、業界・職種に対して理解をし、入社後も積極的に仕事に取り組むことができるため。 ご本人たちから、「授業で習った知識やワードが仕事で出てきて楽しいです。」とよく耳にするからです。また、工場勤務の社員が比較的多いのですが、他の社員より商品作りに対して関心が高く、ものづくりの部署がメーカーの礎を築いていると理解しているため、先輩社員にとっても好かれます。</p>
役に立っている	<p>御学の卒業生は、全体的に就業意識とモチベーションが高いように感じています。 自身の仕事観を整理することに繋がっていると思われれます。 向上心が高く働けており、志向形成を固められていたことによるものだと感じました。 業界や仕事理解が進むことで、学生の志望が明確になる。 学生さんが、それぞれの学科で学ぶ先にあるキャリアを意識する意義は大きいかと存じます。 就学内容が具体的にどのように生かせるのか、どうステップアップがはかれるのか、が想像しやすくなると思われるため。 企業の実際の現場をみることは大事なことだと思います。 キャリア教育によって食への興味関心が高まり、学生様自身の就職先への選択に関与していると感じるからです。 学生さんが、それぞれの学科で学ぶ先にあるキャリアを意識する意義は大きいかと存じます。 座学では学べない”リアル”を実習を通して学べ、学生にとっても貴重な機会であるため</p>

わからない	具体的にどのようなキャリア形成支援をされているか不明な部分があり、面接等でもピンポイントでその支援を質問をするケースも少ないため、直接関係しているかが見えにくい
	ため。
	役立ち具合について検証のしようがないため。
	キャリア支援プログラムの具体的な為、分かりかねます
	貴学出身の社員が少ないため回答しかねます。申し訳ございません。今後、貴学出身の社員が増えるよう弊社の広報活動(採用活動含む)を強化したいと存じます。
キャリア教育での具体的な習得目標がわかりかねますので、当社業務との紐づけが出来ず役に立っているかどうか判断できません。	

(3)本学のキャリア支援プログラムは就職先の業務に役に立っていると思われませんか。

(注)キャリア支援プログラムとは、単位取得のない正課外の就職ガイダンスやキャリア支援面談を指しています。



(4)(3)でそのように回答された理由を具体的にお書きください

非常に役に立っている	就職ガイダンスや会社説明会に参加した後に入社する事で、会社へのイメージや職務のギャップが小さくなる為
	卒業生に話を伺うと、大変な就職戦線の中で丁寧に支援してもらえたことが心強かったと話されていました。業務についてはこれから確認させていただこうかと思いますが、丁寧に支えてもらった経験は、自分が業務をする上でもきっと自身の役割にも影響を与えていると思います。
	保護者の方以外の社会人に相談できる機会は貴重なので、素晴らしいお取り組みだと思います。学生全員と面談をする丁寧なキャリア支援を行っている大学は少ないと思います。
役に立っている	御学の卒業生は、自身で能動的に何かをしようという発言が多いように感じます。
	礼儀正しく受け答えができる場所は御校のご指導によるものだと思います。
	企業の業務内容や雰囲気、また学生の雰囲気をリアルに知ることが出来る
	就職先とのミスマッチを無くす目的として、意義のある取り組みかと存じます。
	ビジネススキル高く、業務知識を習得する意識が高いように感じます。(貴学出身の社員が少ないため具体的になく申し訳ございません。)
	現在はネットから様々な情報が得られるが、取捨選択が難しく、誤った情報をもとに就職活動を行ってしまうことも考えられる。学校に親身にサポートしてもらえる環境があることは学生にとってもプラスであると考えられるため。
	企業の実際の現場をみることは大事な事だと思います。
	就職先とのミスマッチを無くす目的として、意義のある取り組みかと存じます。
	上記支援プログラムの経験を活かし、業務に取り組んでいると考えるため
弊社に入社していただく貴学学生様は、職員の方と距離が近く、安心して就職活動を進めてこられたことが感じられます。学生様にとっても最初で最後の就職活動ですので、納得性高く就業いただいている印象です。	

わからない	(2)で回答と同様。
	役立ち具合について検証のしようがないため。
	ガイダンスやプログラムを活用したメンバー、活用していないメンバーの差を見出すことが出来ていないため
	キャリア支援プログラムの具体的な為、分かりかねます
	就職活動を不安に感じている学生様にとってガイダンスや面談は必要なものかと思えます。しかしながら、実際に面談が行われる際の内容などに関してわかりかねる部分がありましたのでこちらの回答にいたしました。
	キャリア支援プログラムの具体的な習得目標がわかりかねますので、当社業務との紐づけが出来ず役に立っているかどうか判断できません。

(5)その他、本学のキャリア教育・キャリア支援プログラムについてご意見があれば、下記の欄に自由にお書きください。

形だけのインターンシップではなく、実体験を企業や弊社であれば大学内ラボで実際の業務経験をしていただき、きちんと業務イメージを持った上で就職する流れを作れたらと思います。
ゆくゆく会社人になってどのような事を行いたいのか、長い目で見たキャリアを意識するような育成をして頂けるとより人材像が掴みやすく、会社への期待とのギャップが説明できるので、良いと思う。
就職先の選定など就職に当たっての行動には充分参考になっていると思います。特に、キャリア支援プログラムは、媒体等では巡り合えないような企業と巡り合える機会として有効だと思います。
キャリア支援プログラムの具体的な為、分かりかねます
先輩社員を招いてキャリア支援を行っているのは素晴らしいと思います。・貴学の学生の方は比較的に就職活動でチャレンジする企業数が少ない印象です。3月の時点で既に自分自身の活動軸がハッキリしている学生が多いように思います。